

この紙面とほぼ同じ体裁になるよう、課題用ファイルを加工しなさい。
ただし、末尾の 3 つの指示は指示に従って課題用ファイルを修正しなさい。

専攻（ ） 学籍番号（ ） 名前（ ）

読み仮名をつけることを「ルビを振る」と言います。「ルビ」の語源は、読み仮名に 5.5pt の活字を使い、5.5pt の活字を「ルビー」と読んでいたことに由来します。

親^{おや}譲^{ゆず}りの無鉄砲^{むてっぽう}で小供^{こども}の時から損ばかりしている。小学校に居る時分学校の二階から飛び降りて一週間ほど腰^{こし}を抜^ぬかした事がある。なぜそんな無闇^{むやみ}をしたと聞く人があるかも知れぬ。

ルビを振って下さい。この段落のみ行間を固定値 18.5pt にしています。

夏目漱石「坊っちゃん」から引用

Word で画像を扱うときは解像度の劣化に注意する必要があります。デフォルトでは画像を挿入した後の 1 回目のセーブ時に解像度が劣化します。解像度を落とすか否かは「図ツール：書式」→「調整：図の圧縮」で設定します。「この画像だけに適用する」にチェックが入っていると、保存時に画像の解像度を落とします。デフォルトでは 220ppi (1 インチ (2.54cm) に 220 個のピクセル) にします。

図や画像は加工することができます。「図ツール：書式」→「サイズ：トリミング」で不要部分を捨てます。さらに「図ツール：書式」→「図のスタイル：図の形状」で図の形を楕円、星形、三角形など色々な形に切り抜くことができます。

Worda の文章作成支援機能を 2 つ紹介します。一つ目は「置換」です。「ホーム」→「編集：置換」です。

2 つ目はスペルミスなどの指摘機能です。「ファイル」→「オプション」→「文章校正」→「Word のスペルチェックと文章校正」の 5 項目にチェックを入れます(デフォルトで入っています)。英文や和文のスペルミスには赤線が引かれます。文法誤りや表記の揺れに青線が引かれます。This is an pen. という英文や「食べれる」という表現や「コンピューター」と「コンピュータ」が混在しているときに指摘してくれます。

鹿の写真を挿入し、「文字列の折り返し」を「四角」に設定します。次に「図のスタイル」を「角丸四角形、反射付き」(1 行目。左から 5 個目)に設定し、「図の効果」で「反射」を「反射なし」に設定し、「図の枠線」を「黒、2.25pt」に設定します。次にトリミングします。次に「図ツール：書式」→「配置：文字列の折り返し」→「その他のレイアウトオプション」→「文字列の折り返し：文字列との間隔」で左 10mm、下 5mm に設定します。



たぬきの写真を挿入し、「四角」に設定します。次に「図のスタイル」を「楕円、ぼかし」(4 行目。左から 5 個目)に設定し、「図の効果」で「ぼかし」を「ぼかしなし」に設定します。最後にトリミングします。



文章中の「画像」を全て「写真」に置換して下さい。

赤線が引かれている箇所 3 箇所を修正しなさい。

青線が引かれている箇所があります。最後の 4 行中に存在する 4 箇所について、青線が引かれないう修正しなさい(表記の揺れはどちらかに統一)。